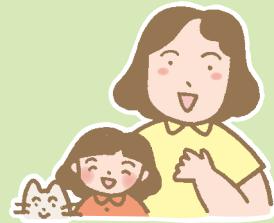


誰もが
安心！

医療・福祉・介護 子育て応援



予算要望を行う（左から）佐々木さん、池田議員、長屋さん、千葉さん、吉岡さん、太田・田中・伊藤・平岡・小形・村上議員

高すぎる国保料引き下げなど

—秋元市長に2018年度予算要望

貧困と格差が広がるもと、高すぎる国保料引き下げや子ども医療費の無料化拡充など、「市民生活を支える予算に」と医療・福祉・介護・子育て支援など、102項目の要望を秋元市長に提出しました。

10分の短縮に1000億円? 「都心アクセス道路」

待った

市の調査でも「混雑度」が最低ランクの創成川通。北34条～北3条通の約4km間に、地下トンネルか高架橋で新たな道路を作ろうとしています。

有力視される地下トンネルの場合、建設費は1,040億円（市の負担約200億円）で、「わずか10分の短縮に1000億円もの税金を投入するのか」と疑問の声が広がっています。



都心アクセス道路に巨額の税金を使うなら…

子どもの貧困対策は急務です。ムダな道路建設よりも、子ども医療費の無料化拡充、学校給食費の無料化、保育料の第2子無料化の年齢制限撤廃などを優先すべきです。

子ども
医療費

小学1～6年生
まで無料に

約24億円

学校
給食

小・中学校の
無料化には

約70億円

国保料

1世帯1万円
引き下げには

約27億円

除雪

除雪パートナーシップ
町内会負担の無料に

約9億円

こっちにまわして！

小・中学校の
無料化には



日本共産党
札幌市議団

市政だより

2018年5・6月号

発行／日本共産党札幌市議会議員団事務局
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内
TEL011-211-3221 FAX011-218-5124
HP : <http://www.jcp-sapporo.jp/>

日本共産党札幌市議団の活動と見解を紹介します。



いい加減 アベ政治 終わらせて！

2800人を超える回答が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

「自民党の利権政治いい加減おわらせて」「デコボコ道路の補修を」など、2,818人から回答があり多数の意見や要望が寄せられました。集計結果の一部ですが紹介します。

(※共産党札幌市議団のホームページに集計結果を載せています)

「生活が苦しくなった」が65%

設問1の「あなたの暮らし向きはどう変わりましたか」の問いに「苦しくなった」65.2%、「変わらない」27.7%で、「楽になった」は、わずか2.0%でした。

「苦しくなった」理由は、「物価の上昇」41.3%、「年金の減少」41.0%、「医療や介護費用の増」30.3%、「給与の減少」11.1%が上位を占め、「親の介護費用で生活が崩壊しつつある」「社会保険料の支出が手一杯で他にまわせない」など、切実な実態が書かれていました。



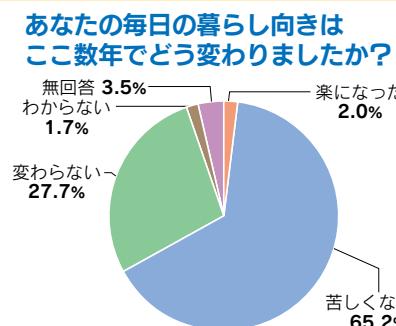
国保料・介護費用軽減がトップ

設問3「力を入れてほしい施策」のベスト3は、「医療・介護・福祉分野」では「国民健康保険など保険料負担の軽減」55.5%、「病院の医療費窓口負担の軽減」42.0%、「介護保険料・利用料の軽減」41.2%で、「子育て・教育分野」では「いじめや体罰の根絶」38.0%、「認可保育所を増やす」35.5%、「子ども医療費の無料化」35.5%、「まちづくり・経済振興」では「正規雇用を増やすなど市民所得の拡大」54.8%、「除雪の拡充と滑り止め対策」53.9%、「若者の就労支援や雇用創出」39.6%となりました。

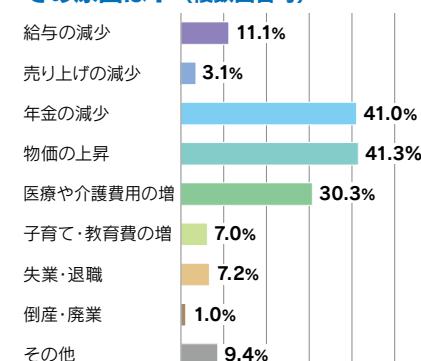


都心アクセス道路は「不要」36% 「知らない」は43%

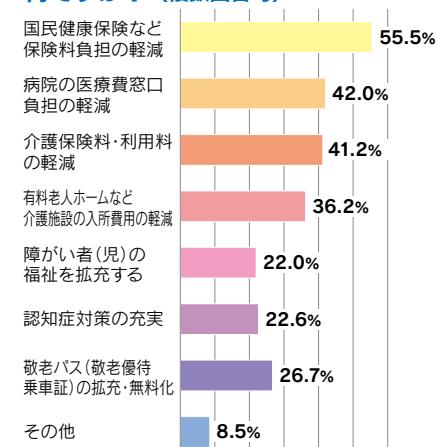
「都心アクセス道路」については、「知っている」20.7%と「ほぼ知っている」23.0%を合わせて43.7%で、「知らない」43.3%とほぼ同数で、整備が「必要」22.9%、「不要」36.6%、「どちらともいえない」24.8%でした。



「苦しくなった」とお答えの方で、その原因は？(複数回答可)



力を入れてほしい施策は何ですか？(複数回答可)



介護保険

5,177円⇒5,773円に値上げ！

保険料引き上げ中止求める陳情

—自民、民進、公明などの反対で否決

市民団体から介護保険料の引き上げ中止を求める陳情が出され、65歳以上の保険料（基準額）を5,177円から5,773円に引き上げる条例案に、「年金は減らされ暮らしは大変」との訴えがありました。

日本共産党の平岡だいすけ議員は、「改定のたびに引き上げられ、厚労省は2025年には8,000円を超えると試算している」と指摘し、国庫負担の大幅な増額や一般会計からのくり入れを求めました。陳情は、自民、民進、公明、市民ネット、維新の反対で否決されました。



市民団体から要請書を受け取る共産党市議団

日ハム球場移転問題

(球団側)「丁寧にお断りされた」 —市は交渉過程を明らかにせよ

プロ野球北海道日本ハムの球場移転問題で、「市の対応が遅れた」「札幌ドームを利用してもらえるよう策を練るべきだった」など、多数の批判が寄せられています。

日本共産党の村上ひとし議員は、球団が新球場構想を打ち出す以前の2010年代前半に、札幌ドームを長期に利用できる契約を求め、市に提案していました。

球団側は、このとき市から「丁寧にお断りされた」とのべていますが、市は「断った認識はない」と答弁し、食い違いを見せました。納得がいく十分な協議が行われていたのか、交渉過程をすべて明らかにすべきです。



市の対応をただす
村上議員

暮らしのご相談は、日本共産党札幌市議団（☎211-3221/fax218-5124）か各市政事務所まで



(中央区)
小形 かおり
中央区
南5条西10丁目
☎520-2272



(東区)
太田 秀子
東区伏古
4条3丁目4-30
☎786-0011



(東区)
平岡 だいすけ
東区北25条
東7丁目2-22
☎752-1266



(白石区)
伊藤 りち子
白石区
平和通3丁目北5-1
☎864-2580



(厚別区)
村上 ひとし
厚別区厚別中央
3条2丁目16-41
☎894-4616



(豊平区)
池田 ゆみ
豊平区豊平4条
10丁目2-13
☎818-8367



(西区)
田中 啓介
西区八軒
5条西3丁目4-12
☎615-5631